



代表取締役社長 青木 勇

ミッション

少子高齢化社会の課題に挑戦し、地域社会を明るく元気にする

新型コロナウイルス感染症に罹患された方々、また自然災害に遭われた全ての方々に心よりお見舞い申し上げます。

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
2021年10月1日ミアヘルサ株式会社による持株会社体制移行に伴い、完全親会社となるミアヘルサホールディングス株式会社が誕生いたしました。また、同日付で東京証券取引所ジャスダック市場にテクニカル上場いたしました。今後はグループが一丸となり、これまで以上に新たな事業機会創出、ガバナンス体制の強化や業務執行の迅速化・効率化の強化と柔軟な経営判断を可能にまいります。

2021年10月20日には都内を中心に保育事業及び介護事業を展開するライフサポート株式会社（以下「ライフサポート」）を完全子会

社化しました。競合激化等が起こりつつある保育業界の市場の中でライフサポートがこれまで培った学童クラブ等多様な子育て支援サービスと経験を競合他社との差別化に繋げていきたいと考えております。

当社グループが展開する各事業は地域包括ケアシステムを構成しており、健康・医療・福祉は「まちづくり」に必要不可欠な要素であると考えております。今後は更に大手デベロッパー企業との協業にも力を入れ、少子高齢化社会の課題に挑戦し、健康・安心・絆のライフラインを構築してまいります。

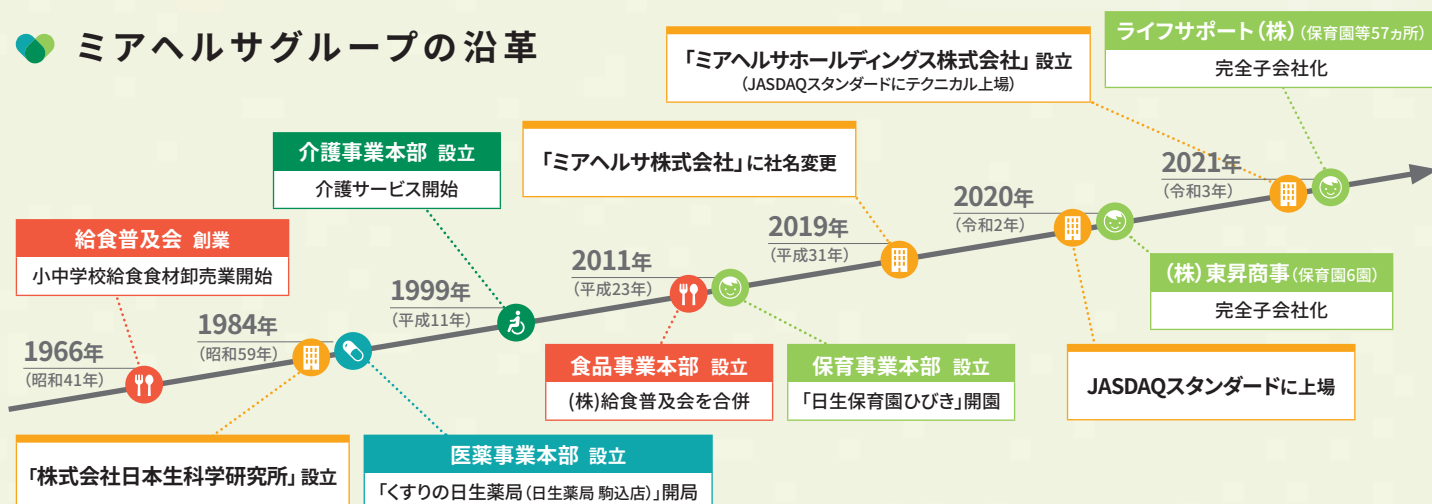
皆様におかれましては今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ミアヘルサの描く未来

地域包括ケアシステムを推進し、健康・安心・絆のライフラインを構築する



ミアヘルサグループの沿革



ライフサポート株式会社を子会社化

ミアヘルサ株式会社は、2021年10月20日、
ライフサポート株式会社の株式の100%を取得し、
完全子会社化いたしました。

株式取得の理由

ライフサポート株式会社(東京都渋谷区)は、東京都内を中心に**54ヵ所**で**保育事業**(認可・認証保育所、学童クラブ等の運営)および**介護事業**(高齢者住宅等の運営)を行っています。近年は、待機児童問題等により施設開設ニーズが高く、新規開設による事業拡大が見込める保育事業に経営資源を集中するため、**英語教育等付加価値の高いサービス提供**や**学童保育の展開**に注力するとともに、介護事業の縮小等により収益力の向上に取り組んできました。

保育業界の市場環境としては、待機児童の解消が徐々に進み、認可保育園の増加による競合激化等が起こりつつある一方で、**様々な子育て支援のニーズが生じており、以前にもまして、事業の専門性と柔軟な事業運営が求められるようになってきました。**

当社は、地域包括ケアシステムを推進し、健康・安心・絆のライフラインを構築するという理念に基づき、首都圏に調剤薬局39店舗、介護事業所63事業所、認可保育園34園(指定管理1園含む)を展開、1984年の設立から医療・福祉分野に進出し約40年の歴史があります。保育事業、介護事業ともに自社で事業展開しているため支障なくライフサポートの運営を引き継ぐことができます。また、**ライフサポートが事業展開しているエリアは当社事業所との地理的な重なりが少ないこと、および学童クラブ等、多様な子育て支援ニーズへの対応が可能となること等、グループとしてのシナジー効果**も見込まれ、当社グループの保育事業の成長促進と子育て支援分野の拡充が可能になるものと判断いたしました。

以上の理由から、ライフサポートの株式を取得することといたしました。

ライフサポート株式会社の概要



●名称	ライフサポート株式会社	
●住所	東京都渋谷区千駄ヶ谷五丁目34番7号 NEX新宿ビル3F	
●事業内容	保育園、学童保育施設、介護施設の運営等	
●資本金	100百万円	
●設立年月日	1995年2月2日	
●直近3年間の連結売上高	(決算期)	(売上高)
	2018年12月期:	5,034 百万円
	2019年12月期:	5,363 百万円
	2020年12月期:	5,259 百万円

(注) ライフサポートの100%子会社に株式会社PURE SOLUTIONSがあります。両社の単純合算数値から、両社間での取引高を相殺消去した数値を記載しています。

今後の見通し

本件に伴う当社の業績及び財務状況に与える影響につきましては、11月15日発表の「2022年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご確認ください。

中期経営計画の進捗状況

基本方針

首都圏に人々の生涯を支える企業として信頼のミアヘルサ・ブランドを確立する

4つの成長の進捗状況

加算対象の強化、オンライン服薬指導の普及

門前薬局の出店とともに、駅前立地の医療モールの開発に取り組み、かかりつけ薬局などの機能強化とサービスの拡充に注力してまいります。またICT体制強化により、お客様の利便性や業務効率の向上を図ります。

緩和ケアの増床、入居率の向上

認知症等の市場ニーズに応え、グループホームを展開するとともに、ターミナルケアのノウハウを活かしてホスピス事業を強化してまいります。また、入居率の向上に取り組むことで収益構造の変革を図ります。

新園の安定開設、公立保育園の指定管理

認可保育園の安定開設に取り組みます。また今後の待機児童の減少に備えて、4月からスタートした公立保育園の指定管理の受託運営と開発に取り組むとともに、保育士の採用や育成体制を強化し、さらに保育の質を高め選ばれる園を目指します。

積極的なM&Aと新規開発

少子高齢化社会という市場機会を活かし、4事業部の機能連携によるシナジーを差別化として、都市開発の考え方である地域包括ケアシステムという政府方針を実現し、成長展開を図ってまいります。

メディケアオアシス新百合ヶ丘 開設

9月1日川崎市麻生区に、住宅型有料老人ホーム「ミアヘルサ メディケアオアシス新百合ヶ丘」(定員:44名)を開設しました。(※24時間対応の「ミアヘルサ訪問看護ステーション新百合ヶ丘」も同時開設)。末期がん患者や難病患者の増加、社会保障費の増大による病床機能の見直しにより、現在、全国的に緩和病棟や受け入れ施設が不足し、看取り環境の改善が求められています。当社では、2020年8月の「オアシス東新小岩」ホスピス専用フロアの設置に続き、新たに住宅型有料老人ホーム(在宅型ホスピス)を開設することで、益々高まる「**在宅での緩和ケア**」や「**看取り対応**」のニーズにお応えしてまいります。

同施設では、提携医療機関による訪問診療に加え、訪問看護ステーションを併設することで24時間365日対応するなど、看護師を中心とした多職種チームでご入居者様一人ひとりに寄り添い、「**病院の安心感**」と「**自宅の快適さ**」を備えた**緩和ケアサービス**をご提供しています。

今後もミアヘルサでは、末期がん・難病患者の増加による受け入れ施設不足という市場ニーズを成長の機会と捉え、介護保険と医療保険が適用され、より高い収益性が見込める在宅型ホスピス事業を首都圏中心に積極展開してまいります。

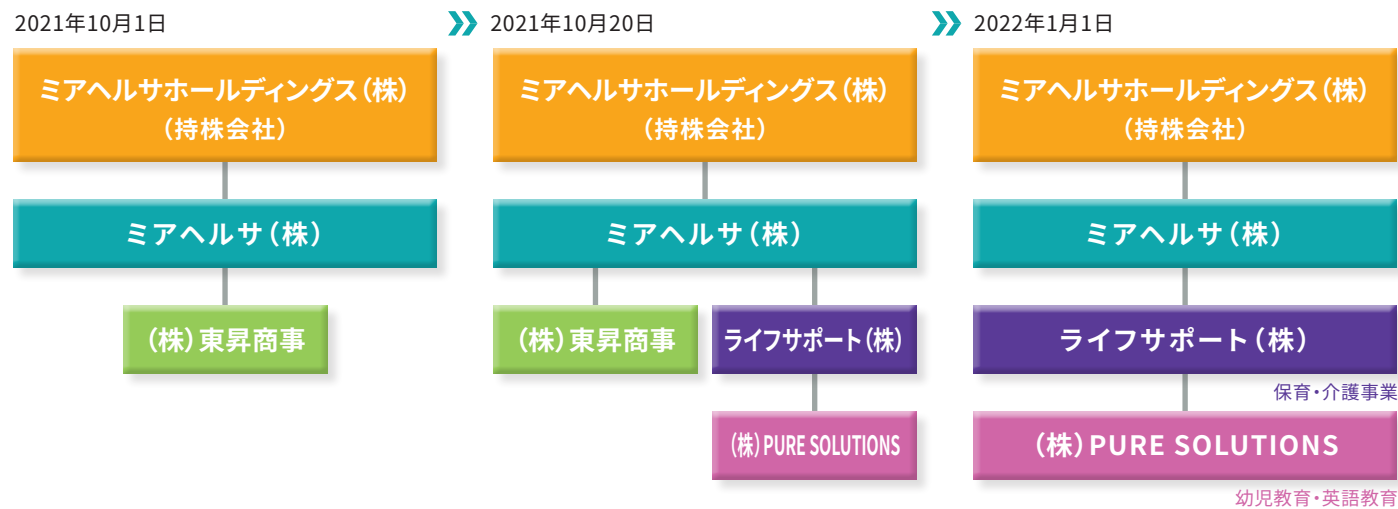


保育園・介護施設運営会社の子会社化

都内50カ所の保育施設(認可・認証保育所、学童クラブ等)を運営するライフサポートがミアヘルサグループに加わり、グループ全体で運営する保育施設は合計**84施設**となりました。ミアヘルサが事業展開するエリアと地理的な重なりが少ないことや、学童クラブ等多様な子育て支援ニーズへの対応が可能となるなど、グループとしてのシナジー効果も見込まれ、当社グループの保育事業の成長促進と子育て支援分野の拡充が期待できます。

持株会社体制への移行

当社グループは、今後も持続的な成長を続けるため、2021年10月に「ミアヘルサホールディングス株式会社」を設立し、持株会社体制に移行いたしました。



ミアヘルサホールディングスのSDGs活動

ミアヘルサグループでは、事業活動を通じて社会の課題解決に貢献することで、永続的に必要とされる企業になるよう努めております。これまでもSDGsに関連する取り組みを数多く実施しており、その一例をご紹介します。



地域の拠点病院と「災害時における協力体制に関する協定書」を締結(日生薬局 府中店)

2021年3月31日東京都府中市にある公益財団法人 日本心臓血管研究振興会附属 榊原記念病院と日生薬局府中店は「災害時における協力体制に関する協定書」を締結しました。地震、台風、大洪水等の自然災害やテロ等による大規模な災害等の発生時に、相互に連携・協力を行之、北多摩南部医療圏(府中市・武蔵野市・三鷹市・調布市・小金井市・狛江市)を中心として、必要な医療が持続的に実施されるよう取り組んでまいります。大規模災害の発生(または発生する恐れがある場合)においては、榊原記念病院にて医療に必要な在庫物資が不足すると見込まれるときは、日生薬局 府中店より下記の通り、物資供給の協力を行います。

供給物資(例) 医薬品、医材料、日用品、食料品、燃料品、その他医療の実施にあたって特に必要とされるもの

今後も、日生薬局・ミアヘルサ薬局では、薬剤師による薬のサポートに加え、地域の皆様に安心して過ごしていただけるよう、医療機関等と連携を図り、利便性の向上や医療の質の向上に寄与する取り組みを積極的に進めてまいります。



協定書調印式
(左)ミアヘルサ株式会社 青木
(右)榊原記念病院 磯部院長



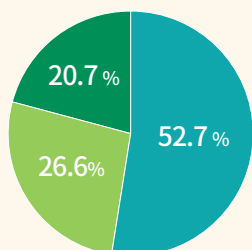
売上高
8,523 百万円

営業利益
111 百万円

経常利益
128 百万円

親会社株主に帰属する四半期純利益
82 百万円

セグメント別売上高構成比

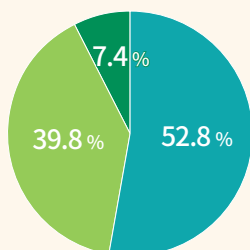


医 薬	4,268百万円
保 育	2,154百万円
介 護	1,677百万円

医薬事業の構成比は50%超を占めておりますが、保育事業、介護事業の成長により近い将来50%を切ると予測されます。今後、保育の成長とともに、介護の市場環境とサービス内容が整いつつあり成長が期待されます。

※報告セグメント3事業のみ。その他、調整額を除く。

セグメント別営業利益構成比



医 薬	261百万円 (利益率6.1%)
保 育	197百万円 (利益率9.1%)
介 護	37百万円 (利益率2.2%)

保育事業を成長ドライバーとし積極的な投資を行ってきました。また、介護事業の展開しているグループホーム、ホスピスは社会的ニーズも高く、収益率も高いことから強化により収益拡大を図ってまいります。

医 薬 事 業

コロナ禍による医療機関の外来抑制や長期処方の影響はあるものの、処方箋枚数(前年同期比)は増加しました。一方、処方箋単価は2021年4月に実施された薬価改定により低下しました。今後も後発医薬品調剤体制加算の取得店舗数の増加等、加算体制の強化に努めてまいります。

介 護 事 業

コロナ感染予防の観点から一部ご利用者様の利用の自粛等により、通所介護事業所を中心に利用者は減少しましたが、昨年度において事業継承した事業所や、今年度、新規開設した事業所の利用者の増加が業績に寄与しました。今後は認知症対応等の市場ニーズに応えグループホームやホスピス事業を強化してまいります。

保 育 事 業

2021年4月に開設した認可保育園(3園)と公立保育園(すみだ保育園)の指定管理開始による園児数の増加が業績に寄与しました。2021年9月末現在34園、総勢1,822名の保育園児をお預かりしており、待機児童問題の解消に貢献しながら売上・利益を伸ばしています。

(単位:百万円)	2021年3月期		2022年3月期	
	第2四半期	通 期	第2四半期	通 期 (予 想)
売上高	8,059	16,754	8,523	19,265
営業利益	49	322	111	185
経常利益	68	340	128	210
親会社株主に帰属する 四半期純利益	37	478	82	375
総資産	9,385	10,069	10,323	—
純資産	2,554	2,975	3,024	—
1株当たり四半期純利益	15.12円	194.40円	33.18円	150.89円
自己資本比率	27.2%	29.6%	29.3%	—

※2021年10月20日にグループ会社となったライフサポート株式会社の業績を含んでおります。

配 当 に つ い て

当社グループは、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題の一つとしており、成長を確保するため、将来の事業展開と企業体質の強化のための内部留保も考慮しつつ、継続的かつ安定的な配当(増配)を継続していくことを基本方針としております。当期の中間配当金につきましては、1株当たり13円を実施させていただきます。また、期末配当金につきましては、1株当たり17円を予定しており、これにより年間配当金は、1株当たり合計30円となる見込みであります。

2022年3月期

1株当たり中間配当金

13円

1株当たり期末配当金

17円(予想)

株 主 メ モ

証券コード	7129	株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ	郵便物送付先 および電話照会先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話：0120-288-324 (フリーダイヤル)
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	公告掲載方法	電子公告により行います。やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
定時株主総会	毎年6月	公告掲載URL	https://www.merhalsa-hd.jp/
基準日	毎年3月31日		
剰余金の配当の基準日	毎年9月30日、3月31日		
1単元の株式数	100株		



会 社 名 ミアヘルサホールディングス株式会社
 本店所在地 〒162-0064 東京都新宿区市谷仲之町3番19号
 電 話 番 号 03-3341-7205(代表)
 お 問 い 合 せ contact-ir@merhalsa.jp

